

高校1年 学年通信 No.6

2018年7月20日

炎暑の候、皆様におかれましては、ますますご壮健のこととお喜び申し上げます。また、平素は学校活動に多大なご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。

さて、本日をもって一学期が終了いたしました。高校生としてスタートを切ったこの3か月半はどんな過ごし方ができたでしょうか。部活動においても勉強面においても、高校生として求められることは以前よりもレベルが高くなります。急に、求められる課題をクリアできるわけではありませんが、そのレベルの高い課題をクリアしようとチャレンジすることが、後の成長につながっていくものです。全てが成功するわけではなく、もしかしたら失敗することの方が多いかもしれません。大切なのはその時の考え方ではないでしょうか。私が意識している考え方に次のようなものがあります。

『物事に良いも悪いもない、どう考えるかによって良くも悪くもなる』

現実に起きた事実は変えることはできません。しかし、その事実に対する捉え方は、自分でいくらかも変えることができます。ある事象が起きたその瞬間では悪いと感じることも、長い目で見れば良い方向に転じることはよくあります。逆も然りです。この観点からすると、

- ・自分にとって一見良いと思えることが起きたときには、
調子に乗りすぎないように気を引き締める。
- ・逆に悪いと思えることが起きたときには、次への成長のための材料として受け止める。

そうすることで、長い目で見た成功を手にすることができるのではないのでしょうか。

総合学習として

昨日の短縮授業の時間を利用して、「1学期のポートフォリオ作成」と「キャリア甲子園のプレントリー」を行いました。

○「JAPAN E-Portfolio はどのように活用されるのか」

JAPAN E-Portfolio とは、高校生活の活動を e ポートフォリオとして記録、振り返りができるポータルサイトのことで、この学年の大学入試で利用されることが決定しています。近年取り組まれている入試改革の一環です。ただし、これについては、“対策”と“本質”の両面から考える必要があります。

具体的にどのように利用されるかという“対策”の面からいうと、

- ・出願資格として利用する
JAPAN E-Portfolio に英検2級以上の記載がある者のみ出願ができる など
- ・得点化して合否判定に利用する
大会、コンクールなどの受賞歴や活動における職務歴などを点数化し個別試験と併せて合否判定する

・合否判定の参考に利用

個別試験のボーダー付近の受験生に対して、これまでの活動記録、調査書、志望理由書から人物評定を行う。(個別試験の点数ではボーダーより下でも、これまでの活動プロセスが評価されて合格となることもある)

・プレントリー

事前に JAPAN E-Portfolio を提出させ、その評価を時間をかけて行った後、学力検査を実施する。

などが考えられています。これはこれから求められる学力の三要素のうち、「**思考力、表現力、判断力**」「**主体的に取り組む態度**」を評価しようとするものです。

一方、“本質”としては、これらを行う目的は入試対策のためではなく、**社会で必要な力を伸ばそうとしている**ことを理解するということです。言うまでもなく、自ら学び、考えて行動する力は、社会で活躍するうえで必要な力です。単に入試のためにではなく、将来にわたって必要な力を身につけようとしているという必要性を感じて、自分の力を伸ばしていくことが大切です。

○「キャリア甲子園のプレントリー」

キャリア甲子園とは、高校生がチームを組んで企業に挑戦する、日本最大級のビジネスコンテストです。これに取り組むことで、

- 「**答えのない問いを考える力**」
- 「**ロジカルシンキングや企画書の書き方**」
- 「**プレゼンスキルなどの社会でも生きる力**」

などを身につけることを目的としています。



主体的に取り組む態度（学びに向かう力）をつける！

総合学習や様々な企画を実施している理由は、「主体的に取り組む態度(学びに向かう力)」を伸ばすためです。この分野を文部科学省からの委託事業として中心的に研究している一つが、関西学院大学です。先日、ある研究会で関西学院大学における高大接続の担当者から以下の報告がありました。

- 入試成績と大学での成績について、
「**一定以上の入試成績をとってれば、入試成績と大学での成績に相関関係はない。**」
むしろ、**主体的に取り組む態度がある学生が大学での成績を伸ばしている。**

というものでした。これまでの入試で中心的に求められてきた知識・技能はもちろん必要です。しかし、その知識・技能を活かすその土台が「主体的に取り組む態度」で、これが今まで以上に求められています。上で述べた“本質”に当たる部分だと考えていますので、われわれも声高に求めていきたいと思います。

希望面談

昨年度より高校1年生の三者面談が、11月から12月へと時期が変更になりました。すでにお知らせしておりますように、1学期終わりに希望制ではありますが面談を行います。夏休み前半でもあり、そこでの話を活かせる良い時期でもあります。

平日の日中の時間設定のため、都合がつきにくかったご家庭もあったかもしれません。また、面談という形式までは……。というご家庭もあったかもしれません。何か相談事がありましたら、遠慮なくご連絡いただければと思います。



オープンキャンパスについて

すでに生徒の中には、夏休みを利用してキャンパス訪問をする者が少なくありません。高1はまだ早いんじゃない？というのが昔の感覚ですが、今から目標を持って行動することはとても良いことです(高2では、キャンパス訪問は夏休みの課題になります)。受験も「やっぱりここに入学したい」という思いがこれからの頑張りを支えることもあります。来年に向けて、ぜひご家庭でもご検討下さい。



オープンキャンパスの検索や、パンフレットの取り寄せ、オープンキャンパスの予約に便利な、「スタディサプリ オープンキャンパス」というアプリを、iPad に配信しています。ご活用ください。



本日の配布物

1. 成績通知表 クラス平均点(2・3組は同一)の6割未満が欠点となります。
科目の枠の下に*がついている科目が欠点です。
2. 考査成績表(1学期期末)
3. 学年通信
4. 1学期会計報告
*1.～4. は封筒に入れて持ちかえらせます。
5. 人権通信「青空」
6. 夏休み宿題一覧
7. 2学期行事予定

今後の主な予定

夏期講習	7月23日(月)～7月26日(木)	第1ターム
	7月30日(月)～8月2日(木)	第2ターム
	8月6日(月)～8月9日(木)	第3ターム
	8月20日(月)～8月23日(木)	第4ターム

7月	23日(月)～	カナダ語学研修(申込者、～8月3日(金))	
8月	4日(土)		オープンスクール
	5日(日)		
	17日(金)		

始業式

27日(月) スタディサポート
28日(火) 英検IBA

*来年春の豪州語学研修参加希望多数の場合、選考基準となります
情報モラル講演(講師:小木曾健(GREE株式会社))

9月	30日(木)	午前中授業
	31日(金)	
9月	1日(土)	通常授業